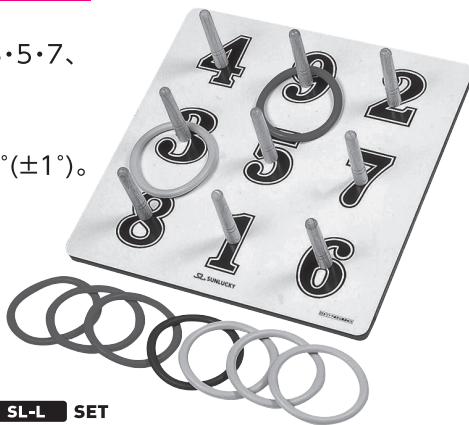


「日本ワナゲ協会公式ワナゲ」[®] について

台(ワナゲ台) 木製60cm×60cmの白地、上段左より4・9・2、中段左より3・5・7、下段左より8・1・6の数字を茶色で印したものを、各数字の上には得点棒を固定し、台裏には傾斜をつけるための脚2本をつける。傾斜角度は20°(±1°)。



SL-L SET
公式ワナゲセット
¥19,800 (税抜価格 ¥18,000)
60cm×60cm台1、棒・脚セット1、輪9、ルール付、PAT.P
台：フラッシュ構造20mm厚、木製
梱包サイズ：63.5×63.5×9cm
重量：約5.5kg

※表示価格は2022年1月21日現在のメーカー希望小売価格です。価格及び仕様変更になる場合がありますので予めご了承下さい。

輪 赤色4本・黄色4本・青色1本の計9本。ゴム製で外径17.0cm(±1mm)、内径13.8cm(±1mm)、重量133g(±3g)。

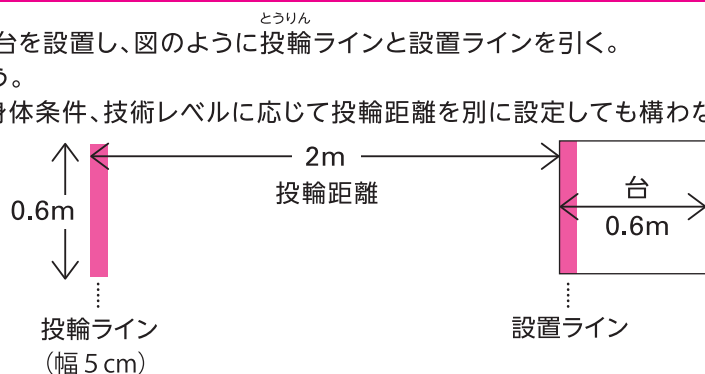
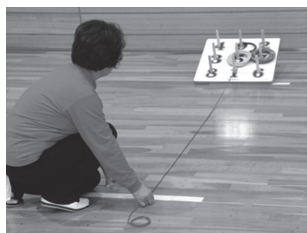
ワナゲ台の組み立て方法

1. 台の左下から8、1、6、左中から3、5、7、上の真中9の順に棒を差し込み、裏から専用ナットで締めて固定する。その際、専用ナットはきつく締めすぎないように。特にスパナなどによる締めつけは避けること。
2. 次に脚のある4と2に棒を差し込み、裏からその脚を使って固定する。

安全上の注意事項 | 警告 台の上に 乗らないでください。 | 注意 投輪するときは、周りに障害物がないか、人がいないかを確認してください。

場所・コート

屋外・室内を問わず、平坦な場所に台を設置し、図のように投輪ラインと設置ラインを引く。
公式ルールでは、2mより投輪を行う。
但し、申し合わせにより、競技者の身体条件、技術レベルに応じて投輪距離を別に設定しても構わない。



ニュースポックス **Newspox**
ONLINE SHOP



★ 用品・用具のお買い求めはお近くのスポーツ店、もしくは左記フレンドリー情報センターのオンラインショップにてどうぞ。

ウェブサイトはこちら

SUNLUCKY NEWSPORT FOR EVERYONE

ニュースポーツメーカー 株式会社 サンラッキー

【お客様窓口】 ☎ 0120-81-4670 (平日9:30~17:00 / 土・日・祝日 休み)

https://www.sunlucky.jp

E-mail: info@sunlucky.jp FAX: 06-6981-6740

ウェブサイトはこちら



ルールや講習のお問い合わせ

特定非営利活動法人 フレンドリー情報センター

【本社】 〒537-0012 大阪市東成区大今里 3-12-23

https://www.newsports-21.com

e-mail: friendly@newsports-21.com

TEL: 06-6971-9190 FAX: 06-6981-7470

ウェブサイトはこちら



体も頭も使う全身運動
公式ワナゲ
日本ワナゲ協会公認



OFFICIAL WANAGE

公式ワナゲの進展

ワナゲは、縁日でのお遊び程度で、ゲームとしての進展は認められなかったものの、戦後まもなく青木泰三氏(元大阪府立大学教授、日本ワナゲ協会初代会長)の指導により、ワナゲをゲームとして再生するため独自のルールや用具が整備されました。

当初の輪は、ロープを素材に使用していましたが、均質性やゲーム性を考慮し現在のゴム製のものが開発され、目標となる台の形状は正方形になりました。そして台上の数字の縦、横、斜のいずれの和(+)も15となる配列を施しました。

1967年には簡易スポーツ研究会の基礎メンバーを中心に「輪で 話と 和を」の実現を理念とした日本ワナゲ協会が発足し、数回のルール改訂を経て、2002年(平成14年)4月から公式ワナゲの統一ルールの実施となりました。

公式ワナゲに必要とされる運動機能

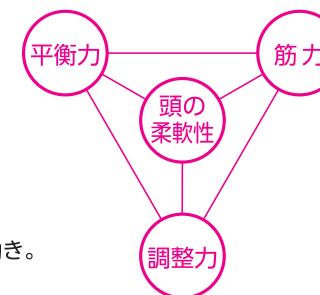
133gの輪を2mの距離から投げるため、次の機能が要求されます。

筋力… 輪の重さを生かした腕の力。

平衡力… 身体の均衡を保つバランス感覚。

調整力… ひざの屈折や腕の振りを調整する力。

頭の柔軟性… 単に「投げる」から「考えて投げる」ゲームに必要な頭脳の柔軟な動き。

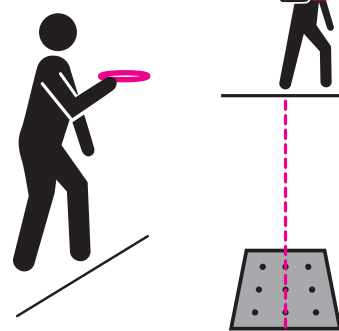


輪の投法について

横投げ(サイドフリップ投法)

輪を地面に対して平行に保ち、足を前後に、肩幅よりもやや広くとり、サイドスローで投げる方法。この投法はコントロールが難しいが、バウンド(跳ね返り)しにくいので、近距離に適している。

横投げ(サイドフリップ投法)



正面投げ(センターフリップ投法)

足を肩幅と同じ程度に開き、利き腕がワナゲ台の中央部に向く形で、投輪ラインに沿って立つ(利き腕側の足を一步引く姿勢をとるのもよい)。次に、輪が地面に対して平行になるように突き出す。そして、輪を持つ腕の力を抜いて後方に振り、その反動で投げるアンダースロー投法である。慣れると的中率が高いが、バウンドしやすい。

正面投げ(センターフリップ投法)

